

テーマ：「MSBC RADIO ~ FM あまがさき編 ~」

(県立武庫荘総合高校 放送部)

(2/25, 28 放送分)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。それでは、さっそくスタートです。どうぞ。

森本・大石 MSBC RADIO! 皆さん、こんにちは。

森本 MSBC RADIO の時間です。今回のこの時間は、武庫荘総合高校放送部 2 年森本理沙子和、大石 1 年大石穂がDJを務めます。

森本・大石 よろしくお祈いします。

大石 さて、今回は皆さんに、武庫荘総合高校、略して「武庫総」の最大の魅力でもある「総合学科」とは一体何なのかを、本校の生徒たちのインタビューを交えながら、皆さんにわかりやすく伝えていけたらなと思います。

森本 それではさっそく、武庫総の魅力に迫っていきましょう。

大石 「武庫総ならでは」と言えば、これも外せないのではないのでしょうか。工業で溶接の授業を選択している、川上希望さんのインタビューをお聞きください。

大石 何の授業をとられてますか。

川上 主に工業の溶接の授業をとってます。

大石 溶接は、どんなことをしていますか。

川上 溶接は、普段の授業では資格取得に向けた勉強で、実技などでは、資格試験をとるための練習をしています。

大石 部品をくっつけたりとかは？

川上 課題研究っていう授業があって、その授業では自分で課題をつかって、設計から物を完成させるまで自分でするんですけど、私はそんななかで電車をつくってます。

大石 発表会とか、あるんですか。

川上 総合学科発表会で展示さしてもらっている。すごい、溶接以外にも工業の設備が充実してて、2 年のときの実習は、私が好きな「溶接」だけとかではなくて、インテリアとか電気とか旋盤とか、すべてを順番に行うことができ、設備も整ってるんで、自分が知らない機械とかを触ることができると思います。

大石 この授業をとって良かったと思うことは。

川上 まず、自分の好きなこと、「溶接」に関しての技術が身につくことが、すごい良かったなって思うことやし、先生とか、一緒に溶接をしてる他の学校の子とか、色んな友だちが増えて、溶接のことに

関して話し合えたりする人ができたこととか、インターンシップっていう、工業とってる生徒を対象にした、実際の企業に行かしてもらって、その現場で作業を体験するっていうことを、経験したり、溶接の大会に出れたりしたから、すごい自分にとってはいい経験になったと思います。

大石 溶接をとってる人は、何人ぐらい？

川上 今は、男の子2人と女の子2人。

大石 女の子も、もう一人？

川上 はい。

大石 工業全体としてはどんな感じ？

川上 男の子が大半なんですけど、女の子も実習では3人として、課題研究では、入れ替わり違う子がもう一人とってるんですけど、女の子も興味持ってくれたらなって思います。

大石 溶接の授業だけってとれるんですか。

川上 2年次は、工業全体の实習っていう授業と、座学で自分で溶接をとったりとかはできるんですけど、3年次になったら選択科目が増えるんで、私は毎日溶接の授業があったり、実習があったり、まず教室にいない。工業棟、工業の場所にずっといれるっていう環境です。やっぱり「工業」で、「女の子は入りづらい」という印象が多いと思うんですけど、やってみるとすごく楽しくて、もっとそういう、ものづくりの楽しさを知ってくれる女の子とか、「入りづらいな」と思ってる子が、ちょっとでも一歩踏み出して「工業」のどこに来てくれたら、また色々、女の子の仕事とかも広がるんじゃないかなって思ってるんで、女の子もぜひ「工業」に来てみてください。

森本 インタビューを聞いてると、川上さんの声が本当に楽しそうに聞こえました。

大石 とても熱意を持って、インタビューに答えてくれました。

森本 高校生から専門的な知識を学べることは、将来役に立ちますね。

森本・大石 武庫総あるあるー！

森本 その1

大石 校内も土足で砂だらけー。

森本 その2

大石 先生が多すぎて、名前が覚えられなーい。

森本 その3

大石 学校が広すぎて迷子になるー。しかも、そのせいで駐輪場が遠くて遅刻するー。

森本 遅刻はダメですよ。

大石 はーい。

さて、ここまで武庫総の魅力を皆さんにお届けしてきましたが、いかがでしたでしょうか。

森本 この学校は、3年間を通して様々な体験から、自分の考えを深め、社会で生きていく力を身につけることができます。

大石 もうすぐ私は2年次生、先輩は3年次生ですね。

森本 そうですね。お互いがまた新たなことに挑戦する1年にしていましょーう。

大石 はい。ここまでの相手は、武庫荘総合高校 放送部 1年大石穂と、

森本 2年森本理沙子がお送りしました。

森本・大石 さようなら！

稲村 いかがでしたか。それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上